

公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
所管事務調査説明資料

目 次

第1章 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団の概要

1	名称, 設立年月日, 所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員名簿	3
7	評議員名簿	4

第2章 平成25年度決算状況

1	事業報告	5
2	貸借対照表	9
3	正味財産増減計算書	10
4	財務諸表に対する注記	12
5	附属明細書	14
6	財産目録	15
7	収支計算書	17
8	収支計算書に対する注記	18
9	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	18
10	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	18

第3章 平成26年度事業計画

1	事業計画	19
2	収支予算書	22

平成26年9月1日

経済観光文化局

第1章 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団の概要

1 名称, 設立年月日, 所在地

- (1) 名 称 公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
- (2) 設立年月日 平成11年3月1日
平成24年4月1日 (公益財団法人へ移行)
- (3) 所 在 地 福岡市博多区中洲中島町3番10号

2 設立目的

文化芸術の振興に関する事業を行い、もって心豊かな市民生活の実現と、
薫り高い文化芸術の創造・発展に寄与すること。

3 事業内容

- (1) 市民文化の振興に関する事業
- (2) 文化芸術活動者の支援・育成に関する事業
- (3) 国内外との文化交流の促進に関する事業
- (4) 文化普及, 広報事業の推進に関する事業
- (5) 福岡市の依頼による文化芸術事業の受託に関する事業
- (6) 福岡市の依頼による文化施設の管理及び運営の受託に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 基本財産

200,000千円

(福岡市出資金 200,000千円, 福岡市の出資比率100%)

6 役員名簿

(平成26年7月1日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備 考
理事長	石原 進	平成24年4月1日	九州旅客鉄道株式会社相談役
専務理事	広川 大八	平成26年4月1日	(常勤)
理 事	岩熊 正道	平成24年4月1日	RKB毎日放送株式会社メディア事業局長
理 事	後小路 雅弘	平成24年4月1日	九州大学大学院教授
理 事	尾本 章	平成24年4月1日	九州大学大学院准教授
理 事	古賀 弥生	平成24年4月1日	アートサポートふくおか代表
理 事	重光 知明	平成26年4月1日	福岡市経済観光文化局長
理 事	高宮 由美子	平成24年4月1日	NPO法人子ども文化コミュニティ代表理事
理 事	橋本 淳	平成26年4月1日	福岡市教育委員会教育次長
理 事	梁木 靖弘	平成24年4月1日	九州大谷短期大学教授
理 事	藤田 中	平成24年8月1日	株式会社西日本新聞社文化部長
理 事	薬真寺 偉臣	平成24年7月1日	九州電力株式会社取締役常務執行役員
理 事	横尾 和彦	平成24年4月1日	福岡文化連盟事務局長
理 事	吉田 由布子	平成24年4月1日	福岡教育大学名誉教授
監 事	重藤 健士	平成25年7月5日	公益財団法人西日本国際財団専務理事
監 事	待鳥 孝夫	平成25年7月5日	公益財団法人福岡文化財団事務局長

7 評議員名簿

(平成26年7月1日現在)

氏名	就任年月日	備考
有馬 学	平成24年4月1日	福岡市博物館館長
石橋 和幸	平成26年4月1日	株式会社九電工取締役上席執行役員
宇田川 宣人	平成24年4月1日	九州産業大学教授
大山 平一郎	平成24年4月1日	サンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督兼指揮者
川原 道憲	平成25年7月5日	ひびきエル・エヌ・ジー株式会社代表取締役社長
清川 昭	平成24年4月1日	元第一保育短期大学教授
栗原 小巻	平成24年4月1日	女優
相良 直文	平成24年4月1日	RKB毎日放送株式会社常勤相談役
末吉 紀雄	平成24年4月1日	コカ・コーラウエスト株式会社代表取締役会長
多田 昭重	平成24年4月1日	株式会社西日本新聞社顧問
錦織 亮介	平成24年4月1日	福岡市美術館館長
村上 廣志	平成25年4月9日	福岡アジア美術館館長

第2章 平成25年度決算状況

1 事業報告

平成25年度は、財団の機能を活かした民間、関係団体などとの連携のもと、市民一人ひとりが文化芸術に親しむことができる魅力あるまちづくりを目指して①市民文化の振興 ②文化芸術活動者の支援・育成 ③国内外との文化交流の促進 ④文化普及、広報事業の推進の4つの柱で事業を展開した。

(1) 市民文化の振興

ア 2013福岡舞台芸術シリーズ

芸術性の高い魅力ある舞台芸術公演を市民の鑑賞しやすい形で提供し、多種多様な舞台芸術に触れる場を創出することにより、福岡の舞台芸術の更なる活性化を促し、都市の活力・イメージを高めるとともに、市民文化の振興を図った。

(ア) Fukuoka in Asia 舞台芸術創造発信プロジェクト

「子どもとおとなのための舞台芸術『走れメロス』」

(イ) 文楽いろはレクチャー

(ウ) 提携公演 iaku Vol.3 「流れんな」

(エ) 提携公演 極東退屈道場「サブウェイ」

(オ) 提携公演 鈴木ユキオ+金魚「Waltz」

(カ) 提携公演 DULL-COLORED POP vol.13 「アクアリウム」

(キ) 提携公演 踊りに行くぜ!!Ⅱ vol.4 福岡公演

(2) 文化芸術活動者の支援・育成

ア 第50回福岡市民芸術祭

「市民の手による市民の芸術文化の祭典」として、より多くの市民の参画を得るよう努めた。

イ 環境づくり・人材育成事業

文化芸術分野における活動環境の整備と創造活動を支える人材の育成を図った。

(ア) アートマネジメントセミナー

- ・アートマネジメントセミナー2013〈実践編〉「これからの連携事業の可能性」
- ・平成25年度公共ホール現代ダンス活性化アウトリーチセミナーモデル事業「最近よく聞く“アウトリーチ”って、何?～あなたの質問に答えます～」

(イ) 文化芸術活動者・文化NPOなどとの連携による創造活動支援事業

- ・演劇大学 in 福岡 2013
- ・九州戯曲賞

ウ 第7回福岡演劇フェスティバル

表現者同士の交流、演劇ファンの底辺拡大を目指し、福岡で本格的演劇祭を開催した。

- ・創作コンペティション「一つの戯曲からの創作をとおして語ろう!」Vol.4 上演審査

エ 第47回福岡市華道展

市内の華道24流派合同による華道展を開催し、市民の創作・発表活動を推進した。

オ F F A C (福岡市文化芸術振興財団) ステップアップ助成プログラム

福岡において芸術分野のプロを目指す活動者が行う芸術分野の発展・普及に寄与する活動について、経費の一部助成やフォローアップ等を行った。

また、報告会を踏まえて座談会を実施し、活動者がジャンルを超えて語り合う場を創出した。

(3) 国内外との文化交流の促進

ア 子ども達芸術活動事業

子ども達の自己表現力やコミュニケーション能力の向上に有効な手段となり得る芸術活動のワークショップなどを開催し、子ども達自らが創作活動に参加できる環境整備に取り組んだ。

(ア) 学校での演劇・ダンスワークショップ

(イ) 公募型ワークショップ

(ウ) 地域でのワークショップ

(エ) 指導者の育成

イ 芸術交流宅配便

市民が文化芸術の魅力に触れ、市民の自発的な取り組みへと発展することを目的として国内外の著名なアーティストを招へいし、学校や公民館、市民団体などとの連携により、ワークショップや講座、レクチャーなど参加型の事業を開催した。

(ア) 古典芸能ワークショップ

(イ) アジアンパーティ芸能ワークショップ

(ウ) 音楽ワークショップ・レクチャー

(エ) NPOとの共働による芸術体験ワークショップ

ウ エイブル・アート事業

- ・エイブル・アート2014「フラグ -Life Map-」

障がい者の芸術活動を通じ、社会における様々な既成の価値や枠を捉え直す運動「エイブル・アート・ムーブメント」の一つとして、舞台作品の公演を行った。

エ 福岡・アジア舞台芸術交流事業

アジアの多様な舞台芸術に、様々な角度から触れる機会を広く市民に提供し、文化芸術を通じた創造的な国際交流・相互理解を促進する事業を行った。

(ア) 福岡ダンスフリンジフェスティバル vol.7

(イ) 韓国-日本 共同制作プログラム Plan Co zero 「カラスとカササギ」

(4) 文化普及、広報事業の推進

ア 文化芸術資源収集活用事業

福岡市民の貴重な財産となる美術品及び博物館資料を、福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館と共働して収集し、新収蔵品展などを通じて広く市民に還元した。

イ 文化芸術に関する情報収集・提供事業

(ア) 文化芸術情報館アトリエの運営

福岡アジア美術館と連携し、福岡都市圏及びアジアの文化芸術情報を収集・発信することを目的として、福岡アジア美術館7階に設けたアトリエは、情報コーナー、チケットコーナー、わの会受付窓口、後援名義申請受付窓口などの内容で運営し、文化芸術の普及振興に努めた。また、外国語対応(英語・韓国語)できるスタッフを配置した。

(イ) 財団機関誌「wa」の発行

福岡の文化芸術の潮流を捉え、市民や地域の文化活動の紹介など広く福岡の文化を発信するため、機関誌「wa」を発行した。文化人によるエッセイやイベント情報、財団事業の紹介のほか、冬号では「市民文芸」を綴込み、新たな文芸ファンの獲得を図った。

(ウ) 情報発信機能の充実

ホームページ、メールマガジン、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用し、適切な時期における文化芸術情報の発信に努めた。

ウ 文化芸術普及事業

広く市民に文化芸術を普及することを目的とし、福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の収蔵品などをモチーフとしたオリジナルグッズの開発・製作・販売、上記3館が実施する事業の広報支援などを行った。

なお、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映にあわせ、新規オリジナルグッズの製作・販売や既存の黒田家関連商品も含め収蔵品のPRを行った。

エ 賛助会「わの会」事業

市民の芸術鑑賞機会の増大を図るとともに、その会費収入については福岡市の文化芸術活動の振興に役立てることを目的に事業を実施した。

なお、平成25年4月1日から会員募集を休止していたが、平成26年1月から平成26年度会員の募集を開始した。

(5) 理事会の開催状況

名 称 等	議 決 事 項
第1回理事会 開催日：平成25年4月9日	議 案 平成25年度第1回評議員会招集の件について
第2回理事会 開催日：平成25年5月13日	議案第1号 平成24年度事業報告及び決算について 議案第2号 平成25年度第2回評議員会招集の件について
第3回理事会 開催日：平成25年6月29日	議 案 平成25年度第3回評議員会招集の件について
第4回理事会 開催日：平成26年3月20日	議案第1号 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 議案第2号 平成26年度特定資産の積立・取崩(案)について 議案第3号 基本財産の運用について 議案第4号 平成25年度第4回評議員会招集の件について

(6) 評議員会の開催状況

名 称 等	議 決 事 項
第1回評議員会 開催日：平成25年4月9日	議 案 評議員の選任について
第2回評議員会 開催日：平成25年5月28日	議 案 平成24年度事業報告及び決算について
第3回評議員会 開催日：平成25年7月5日	議 案 評議員及び監事の選任について
第4回評議員会 開催日：平成26年3月25日	報告事項① 平成26年度事業計画及び収支予算について 報告事項② 平成26年度特定資産の積立・取崩について

2 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	21,939,224	18,196,768	3,742,456
未収金	2,114,665	1,737,345	377,320
印刷物等	30,100,141	27,330,103	2,770,038
流動資産合計	54,154,030	47,264,216	6,889,814
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	581,087	655,187	△ 74,100
投資有価証券	199,418,913	199,344,813	74,100
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
文化芸術資源収集活用事業積立資産	366,652,620	366,652,620	0
文化普及事業積立資産	23,300,965	22,987,213	313,752
文化芸術広報・支援積立資産	21,222,752	21,162,895	59,857
文化芸術事業支援積立資産	2,029,880	2,000,000	29,880
特定資産合計	413,206,217	412,802,728	403,489
(3) その他固定資産			
建物附属設備	1,885,728	2,116,634	△ 230,906
什器備品	2,182,004	2,927,116	△ 745,112
リース資産	3,306,240	0	3,306,240
電話加入権	418,000	418,000	0
敷金	6,833,150	6,833,150	0
その他固定資産合計	14,625,122	12,294,900	2,330,222
固定資産合計	627,831,339	625,097,628	2,733,711
資産合計	681,985,369	672,361,844	9,623,525
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	20,840,521	17,338,211	3,502,310
前受金	670,000	0	670,000
預り金	1,603,133	1,547,886	55,247
リース債務	826,560	0	826,560
流動負債合計	23,940,214	18,886,097	5,054,117
2 固定負債			
リース債務	2,548,560	249,207	2,299,353
固定負債合計	2,548,560	249,207	2,299,353
負債合計	26,488,774	19,135,304	7,353,470
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	566,652,620	566,652,620	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(366,652,620)	(366,652,620)	(0)
2. 一般正味財産	88,843,975	86,573,920	2,270,055
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(46,553,597)	(46,150,108)	(403,489)
正味財産合計	655,496,595	653,226,540	2,270,055
負債及び正味財産合計	681,985,369	672,361,844	9,623,525

3 正味財産増減計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(1) 正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,685,900	2,650,597	35,303
② 特定資産運用益	13,403	36,196	△ 22,793
③ 受取賛助会費	0	3,670,000	△ 3,670,000
④ 事業収益	14,108,841	11,142,228	2,966,613
⑤ 受取補助金等	160,798,012	185,884,857	△ 25,086,845
⑥ 受取助成金	982,000	2,742,000	△ 1,760,000
⑦ 受取負担金	537,675	1,060,000	△ 522,325
⑧ 受取寄附金	30,000	2,000,000	△ 1,970,000
⑨ 雑収益	65,974	73,055	△ 7,081
経常収益計	179,221,805	209,258,933	△ 30,037,128
(2) 経常費用			
① 事業費	158,524,401	184,744,025	△ 26,219,624
② 管理費	18,426,186	18,688,706	△ 262,520
経常費用計	176,950,587	203,432,731	△ 26,482,144
当期経常増減額	2,271,218	5,826,202	△ 3,554,984
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 敷金返還金戻出額	0	32,848,800	△ 32,848,800
② 固定資産除却損	1,163	94,306	△ 93,143
経常外費用計	1,163	32,943,106	△ 32,941,943
当期経常外増減額	△ 1,163	△ 32,943,106	32,941,943
当期一般正味財産増減額	2,270,055	△ 27,116,904	29,386,959
一般正味財産期首残高	86,573,920	113,690,824	△ 27,116,904
一般正味財産期末残高	88,843,975	86,573,920	2,270,055
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,652,620	566,652,620	0
指定正味財産期末残高	566,652,620	566,652,620	0
III 正味財産期末残高	655,496,595	653,226,540	2,270,055

(2) 正味財産増減計算書内訳書

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,685,900	0	0	2,685,900
② 特定資産運用益	13,403	0	0	13,403
③ 事業収益	12,580,978	1,527,863	0	14,108,841
④ 受取補助金等	142,371,826	0	18,426,186	160,798,012
⑤ 受取助成金	982,000	0	0	982,000
⑥ 受取負担金	537,675	0	0	537,675
⑦ 受取寄附金	30,000	0	0	30,000
⑧ 雑収益	65,774	200	0	65,974
経常収益計	159,267,556	1,528,063	18,426,186	179,221,805
(2) 経常費用				
① 事業費	157,209,558	1,314,843	0	158,524,401
② 管理費	0	0	18,426,186	18,426,186
経常費用計	157,209,558	1,314,843	18,426,186	176,950,587
当期経常増減額	2,057,998	213,220	0	2,271,218
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 固定資産除却損	0	1,163	0	1,163
経常外費用計	0	1,163	0	1,163
当期経常外増減額	0	△ 1,163	0	△ 1,163
他会計振替額	69,207	△ 69,207		
当期一般正味財産増減額	2,127,205	142,850	0	2,270,055
一般正味財産期首残高	84,273,847	964,706	1,335,367	86,573,920
一般正味財産期末残高	86,401,052	1,107,556	1,335,367	88,843,975
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,652,620	0	0	566,652,620
指定正味財産期末残高	566,652,620	0	0	566,652,620
III 正味財産期末残高	653,053,672	1,107,556	1,335,367	655,496,595

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券…個別法による取得原価基準を採用している。なお、債券の取得価額と債券金額との差額については、重要性が乏しいため、償却原価法は適用していない。

イ 棚卸資産の評価基準及び評価方法

印刷物等……………先入先出法に基づく原価法を採用している。

ウ 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備及び什器備品…定額法による減価償却を実施している。

リース資産……………リース期間を耐用年数とするリース期間定額法による減価償却を実施している。

エ 引当金の計上基準

該当なし

オ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

カ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引は、契約1件当たりのリース料総額が300万円以上の取引につき、売買取引に係る方法に準じた会計処理を採用している。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
普通預金	655,187	0	74,100	581,087
投資有価証券	199,344,813	999,100	925,000	199,418,913
小 計	200,000,000	999,100	999,100	200,000,000
特 定 資 産				
文化芸術資源収集 活用事業積立資産	366,652,620	101,568,087	101,568,087	366,652,620
文化普及事業 積立資産	22,987,213	1,107,500	793,748	23,300,965
文化芸術広報・ 支援積立資産	21,162,895	1,400,434	1,340,577	21,222,752
文化芸術事業 支援積立資産	2,000,000	29,880	0	2,029,880
小 計	412,802,728	104,105,901	103,702,412	413,206,217
合 計	612,802,728	105,105,001	104,701,512	613,206,217

- (3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	581,087	(581,087)	(0)	—
投資有価証券	199,418,913	(199,418,913)	(0)	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
文化芸術資源収集 活用事業積立資産	366,652,620	(366,652,620)	(0)	(0)
文化普及事業積立資産	23,300,965	(0)	(23,300,965)	(0)
文化芸術広報・ 支援積立資産	21,222,752	(0)	(21,222,752)	(0)
文化芸術事業 支援積立資産	2,029,880	(0)	(2,029,880)	(0)
小 計	413,206,217	(366,652,620)	(46,553,597)	(0)
合 計	613,206,217	(566,652,620)	(46,553,597)	(0)

- (4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,309,055	423,327	1,885,728
什器備品	6,035,113	3,853,109	2,182,004
リース資産	4,132,800	826,560	3,306,240
合 計	12,476,968	5,102,996	7,373,972

- (5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類 及び 銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
共同発行地方債	69,580,000	70,378,000	798,000
福岡市公債	10,000,000	10,263,000	263,000
福岡市公債	999,100	990,000	△ 9,100
大阪市公債	118,839,813	124,278,000	5,438,187
合 計	199,418,913	205,909,000	6,490,087

- (6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	福岡市	0	160,798,012	160,798,012	0
民間助成金	(一財)地域創造	0	582,000	582,000	0
	(公財)九州文化協会	0	300,000	300,000	0
	(公財)福岡文化財団	0	100,000	100,000	0
合 計	計	0	161,780,012	161,780,012	0

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記の「(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び「(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載している。

(2) 引当金の明細

該当なし

6 財産目録 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	280,893		
	預金	普通預金	運転資金として			
		西日本シティ銀行		21,633,331		
	未収金	福岡信用金庫		25,000		
		福岡市民芸術祭実行委員会		90,681		
	印刷物等	石橋美術館		50,000		
		積文館書店		60,605		
		宇宙堂		43,435		
		福岡金文堂		1,425,933		
		その他		444,011		
		福岡市美術館	販売用の図録・叢書・グッズ等と	19,590,942		
	福岡アジア美術館	して	1,084,730			
福岡市博物館		8,868,133				
その他		556,336				
流動資産合計				54,154,030		
(固定資産)	基本財産	普通預金	福岡信用金庫	公益目的保有財産であり、運用	581,087	
		投資有価証券	共同発行地方債	福岡市公募公債	益を公益目的事業の財源として使用する	69,580,000
			福岡市公募公債	福岡市公募公債	こととしている。	10,000,000
			福岡市公募公債	大阪市公募公債		999,100
			福岡市公募公債		118,839,813	
	特定資産	文化芸術資源収集活用事業 積立資産	福岡信用金庫	福岡市からの美術品等購入依頼に備えた資金である。	125,309,942	
			西日本シティ銀行		6,563	
			福岡信用金庫	福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館分	10,000,000	
		文化普及事業積立資産	美術品等		231,336,115	
			西日本シティ銀行	福岡市美術館叢書等の制作及び松永コレクションの維持管理を行うための資金である。	23,300,965	
		文化芸術広報・支援積立資産	福岡銀行	広報活動及び美術館等の活動	19,822,318	
			西日本シティ銀行	支援のための資金である。	1,400,434	
文化芸術事業支援積立資産	西日本シティ銀行	文化芸術活動及び活動者等の支援に充てるための資金である。	2,010,000			
	ゆうちょ銀行		19,880			

その他固定資産	建物附属設備	公益目的保有財産 1 件		1,885,728
	什器備品	公益目的保有財産 13 件		2,164,761
		収益事業等共用財産 9 件		17,243
	リース資産	公益目的保有財産 1 件		3,306,240
	電話加入権	公益目的保有財産 1 件		338,998
		収益事業等共用財産 1 件		79,002
敷金	公益目的保有財産 1 件		5,541,685	
	収益事業等共用財産 1 件		1,291,465	
固定資産合計				627,831,339
資産合計				681,985,369
(流動負債)	未払金	福岡市		11,168,988
		3D フィギュア制作		1,470,000
		ソフトウェアライセンス		615,825
		3 月分カウンター業務		890,149
		3 月分給与賃金		1,839,822
	前受金	その他		4,727,037
		平成 26 年度賛助会費		670,000
		預り金	源泉所得税他	
	リース債務	チケット販売代金		1,198,825
		カラープリンタ	日立キャピタル株式会社	826,560
未払法人税等	平成 25 年度確定額	法人住民税均等割額	71,000	
未払消費税	平成 25 年度確定額		57,700	
流動負債合計				23,940,214
(固定負債)	リース債務	カラープリンタ	日立キャピタル株式会社	2,548,560
固定負債合計				2,548,560
負債合計				26,488,774
正味財産合計				655,496,595

7 収支計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 初 予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	2,500,000	2,685,900	△ 185,900
② 特定資産運用収入	10,000	13,403	△ 3,403
③ 事業収入	12,354,000	14,108,841	△ 1,754,841
受講料収入	862,000	1,148,700	△ 286,700
広告料収入	0	200,000	△ 200,000
印刷物等売上収入	11,492,000	12,760,141	△ 1,268,141
④ 補助金等収入	171,967,000	160,798,012	11,168,988
⑤ 助成金収入	941,000	982,000	△ 41,000
⑥ 負担金収入	0	537,675	△ 537,675
⑦ 寄附金収入	1,000,000	30,000	970,000
⑧ 雑収入	5,000	65,974	△ 60,974
事業活動収入計 (A)	188,777,000	179,221,805	9,555,195
2 事業活動支出			
① 事業費支出	166,598,000	159,494,207	7,103,793
市民文化の振興事業費支出	11,887,000	11,649,178	237,822
文化芸術活動者の支援育成事業費支出	27,313,000	24,885,725	2,427,275
国内外との文化交流の促進事業費支出	9,885,000	11,137,509	△ 1,252,509
文化普及・広報事業の推進事業費支出	36,493,000	36,596,763	△ 103,763
人件費支出	62,130,000	55,336,807	6,793,193
経費支出	18,890,000	19,888,225	△ 998,225
② 管理費支出	24,052,000	18,425,003	5,626,997
人件費支出	16,068,000	12,455,981	3,612,019
事務費支出	7,984,000	5,969,022	2,014,978
事業活動支出計 (B)	190,650,000	177,919,210	12,730,790
事業活動収支差額 (C=A-B)	△ 1,873,000	1,302,595	△ 3,175,595
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入	0	999,100	△ 999,100
② 特定資産取崩収入	78,020,000	78,276,126	△ 256,126
③ 美術品等払出収入	25,631,000	25,426,286	204,714
投資活動収入計 (D)	103,651,000	104,701,512	△ 1,050,512
2 投資活動支出			
① 基本財産取得支出	0	999,100	△ 999,100
② 特定資産積立支出	28,405,000	27,964,100	440,900
③ 美術品等購入支出	72,800,000	76,141,801	△ 3,341,801
投資活動支出計 (E)	101,205,000	105,105,001	△ 3,900,001
投資活動収支差額 (F=D-E)	2,446,000	△ 403,489	2,849,489
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計 (G)	0	0	0
2 財務活動支出			
① リース債務返済支出	830,000	1,006,887	△ 176,887
財務活動支出計 (H)	830,000	1,006,887	△ 176,887
財務活動収支差額 (I=G-H)	△ 830,000	△ 1,006,887	176,887
当期収支差額 (J=C+F+I)	△ 257,000	△ 107,781	△ 149,219
前期繰越収支差額 (K)	326,000	1,048,016	△ 722,016
次期繰越収支差額 (J+K)	69,000	940,235	△ 871,235

8 収支計算書に対する注記

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記(2)に記載するとおりである。

(2) 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	18,196,768	21,939,224
未 収 金	1,737,345	2,114,665
合 計	19,934,113	24,053,889
未 払 金	17,338,211	20,840,521
前 受 金	0	670,000
預 り 金	1,547,886	1,603,133
合 計	18,886,097	23,113,654
次期繰越収支差額	1,048,016	940,235

9 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

10 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 平成26年度事業計画

1 事業計画

(1) 市民文化の振興

ア 2014福岡舞台芸術シリーズ

芸術性の高い魅力ある舞台芸術公演を市民の鑑賞しやすい形で提供し、多種多様な舞台芸術に触れる場を創出することにより、福岡の舞台芸術の更なる活性化を促し、都市の活力・イメージを高めるとともに、市民文化の振興を図る。

(ア) プロデュース公演

(イ) 古典芸能公演「文楽いろはレクチャー」・「公演記録特別上映会」・講演会「ニッポンの至芸」

(ウ) 提携公演

(2) 文化芸術活動者の支援・育成

ア 第51回福岡市民芸術祭

文化芸術における各分野の作品が創造的に公演発表されるよう市民の参画を促し、広く市民の鑑賞の機運を醸成し、文化の振興に寄与する。

イ 環境づくり・人材育成事業

文化芸術分野における活動環境の整備と創造活動を支える人材育成を図る。

(ア) アートマネジメントセミナー

(イ) 文化NPOや文化団体、文化芸術活動者などとの共働・連携事業

ウ 第8回福岡演劇フェスティバル

「舞台芸術見本市」をテーマに若手演劇人に創造の舞台及びステップアップの場を提供するとともに、表現を志す人々の出会いの場を創出し、活力ある地域づくりを担う新しいネットワークの形成を推進することにより、総合芸術としての演劇の魅力を広めていく。

エ 福岡市民文芸

これまで市民芸術祭の行事の一つとして実施してきたが、平成26年度から単独事業として実施する。福岡都市圏在住者から文芸作品を募集・顕彰をすることにより、福岡の文芸の普及・振興に寄与する。

オ 第48回福岡市華道展

市内の華道各流派合同による華道展を開催し、市民の創作・発表活動を推進する。

カ F F A C (福岡市文化芸術振興財団) ステップアップ助成プログラム

福岡において芸術分野のプロを目指す活動者が行う芸術分野の発展・普及に寄与する活動について、経費の一部助成やフォローアップ等を行い、活動者のステップアップを支援する。

(3) 国内外との文化交流の促進

ア 子ども達芸術活動事業

子ども達に芸術との出会いの場を提供し、子ども達自身が創造活動に参加できる環境整備に取り組む。

(ア) 学校でのワークショップ

(イ) 公募型ワークショップ

(ウ) 地域でのワークショップ

(エ) 調査研究

(オ) 指導者の育成

イ 芸術交流宅配便

優れた文化芸術を学校や地域へ提供することにより、市民が文化芸術との関係を深め、文化芸術活動への自発的な取り組みへと発展することを目的に実施する。

国内外の第一線で活躍中のアーティストを招へいし、学校や各区役所、市民センター、公民館、市民団体などとの連携・協力により、市民が身近な場である「学校」や「地域」で優れた文化芸術に触れ、文化芸術の魅力や面白さ、楽しさを直に感じられるようなワークショップやレクチャーなどを開催する。

(ア) 古典芸能ワークショップ

(イ) アジアンパーティ芸能ワークショップ

(ウ) 音楽ワークショップ・レクチャー、ダンスワークショップ

(エ) NPOとの共働による芸術体験ワークショップ

ウ エイブル・アート事業

障がいのある人の芸術活動を通して、障がいや個性について考え、社会の様々な価値観を捉え直すことを目的に実施する。

NPOと共働し「障がいのある人のパフォーマンス・アーツ」作品を制作・上演する。

エ 福岡・アジア舞台芸術交流事業

アジアの多様な舞台芸術に、様々な角度から触れる機会を広く市民に提供し、文化芸術を通じた創造的な国際交流・相互理解を促進する。

また、NPOや芸術団体、市内ホールなど民間団体と連携し、地域の舞台芸術の振興を図るとともに、アジア各都市のフェスティバルとネットワークを築き、新たな人材を発掘・育成する。

(ア) 国内外のアーティストによるダンス公演

(イ) レクチャー・ワークショップ

(ウ) アーティスト・イン・レジデンス

(4) 文化普及、広報事業の推進

ア 文化芸術資源収集活用事業

福岡市民の貴重な財産となる美術品及び博物館資料を、福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館と共働して収集し、広く市民に還元する。

イ 文化芸術に関する情報収集・提供事業

(ア) 文化芸術情報館アトリエの運営

鑑賞者に向けては、福岡都市圏、九州及びアジアの文化芸術情報の発信、活動者に向けては活動の後押しをするセミナーを開催するなど、多くの市民が気軽に集い、「人とアート」「人と人」との交流を通して豊かな市民生活の実現を目指す。

(イ) 財団機関誌「wa」の発行

財団事業を分かりやすく伝えるとともに、人・事・場所などの紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、シーン全体の底上げを図る。

(ウ) 情報発信機能の充実

財団ホームページを運営し、利用者がよりアクセスしやすく、使いやすいものにするなど、発信力を強化していく。

また、財団ホームページ及び文化芸術情報サイト「WEBアトリエ」を一部改修し、利便性を向上させ、福岡・九州・アジアの情報を収集し発信していく。

メールマガジン及びSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)による定期的な発信も継続して行う。

ウ 文化芸術普及事業

福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたグッズ開発や広報活動などの支援を行う。

また、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映にあわせ、新規オリジナルグッズの製作や、既存の黒田家関連商品の販売など収蔵品のPRを行う。さらに、第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014のグッズ製作なども行い、広報等を推進する。

エ 賛助会「わの会」事業

市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市の文化芸術活動の振興を目的に、文化芸術情報の定期発信や会員向け講座などを実施し、財団事業を始めとした文化芸術事業のサポーターを増やしていく。

2 収支予算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,500	△ 500
特定資産運用益	30	10	20
受取賛助会費	830	0	830
事業収益	12,325	12,354	△ 29
受取補助金等	170,278	171,967	△ 1,689
受取助成金	900	941	△ 41
受取寄附金	100	1,000	△ 900
雑収益	5	5	0
経常収益計	186,468	188,777	△ 2,309
(2) 経常費用			
事業費	167,983	169,101	△ 1,118
市民文化の振興事業費	15,658	11,887	3,771
文化芸術活動者の支援育成事業費	20,799	27,313	△ 6,514
国内外との文化交流の促進事業費	10,089	9,885	204
文化普及・広報事業の推進事業費	35,550	37,193	△ 1,643
人件費	64,114	62,130	1,984
経費	21,773	20,693	1,080
管理費	23,090	24,054	△ 964
経常費用計	191,073	193,155	△ 2,082
当期経常増減額	△ 4,605	△ 4,378	△ 227
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,605	△ 4,378	△ 227
一般正味財産期首残高	86,574	75,736	10,838
一般正味財産期末残高	81,969	71,358	10,611
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,653	566,653	0
指定正味財産期末残高	566,653	566,653	0
III 正味財産期末残高	648,622	638,011	10,611

(2) 収支予算書 内訳書

(単位:千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益	2,000	0	0	0	2,000
特定資産運用益	30	0	0	0	30
受取賛助会費	830	0	0	0	830
事業収益	10,725	1,600	0	0	12,325
受取補助金等	147,190	0	23,088	0	170,278
受取助成金	900	0	0	0	900
受取寄附金	100	0	0	0	100
雑収益	5	0	0	0	5
経常収益計	161,780	1,600	23,088	0	186,468
(2)経常費用					
事業費	166,506	1,477	0	0	167,983
市民文化の振興事業費	15,658	0	0	0	15,658
文化芸術活動者の支援育成事業費	20,799	0	0	0	20,799
国内外との文化交流の促進事業費	10,089	0	0	0	10,089
文化普及・広報事業の推進事業費	34,937	613	0	0	35,550
人件費	63,450	664	0	0	64,114
経費	21,573	200	0	0	21,773
管理費	0	0	23,090	0	23,090
経常費用計	166,506	1,477	23,090	0	191,073
当期経常増減額	△ 4,726	123	△ 2	0	△ 4,605
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,726	123	△ 2	0	△ 4,605
一般正味財産期首残高	84,274	965	1,335	0	86,574
一般正味財産期末残高	79,548	1,088	1,333	0	81,969
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,653	0	0	0	566,653
指定正味財産期末残高	566,653	0	0	0	566,653
III 正味財産期末残高	646,201	1,088	1,333	0	648,622